

『すべての人々に福音が「分かる（届く）」ペンテコステ』 吉田真司

キリスト教会の大きなお祝いの出来事には三つあります。一つはイエス・キリストの誕生を記念するクリスマス、一つはイエス・キリストの復活を記念するイースター、そして最後の一つが教会の誕生を記念するペンテコステです。

「ペンテコステ」というのは、ギリシャ語で「第 50 番目」を意味する言葉です。ユダヤ教の最大の祭である「過越の祭」(エジプトからの解放記念祭) から数えて 50 日目のお祭りなので、「五旬祭」とも呼ばれますが、古くは小麦の収穫感謝の日として守られていました。聖書によれば、キリストの十字架の死に失望落胆していた弟子たちが、復活されたキリストに出会い、励まされ、徐々に生きる力を回復していた頃、エルサレムの二階座敷にみんなが集まって祈っていました。するとペンテコステの日に、突然激しい風が吹いて来るような音その家一杯に響き渡り、舌のようなものが炎の形をとって一人ひとりのの上にとどまり、一同は「聖霊」に満たされたのでした。(その聖霊は、キリストが約束されたもの、父なる神様から遣わされる「弁護者」で、その聖霊に満たされる時、目には見えなくも、父なる神様、子なるイエス様が永遠に共にいてくださる確信へと導かれます。)

その日、エルサレムには地中海沿岸のいろいろな国や地方から多くの人が集まって来ていたのですが、聖霊に満たされた弟子たちは、彼らの分かる言葉を話し始めて、それに接した人々の多くが驚きました。そしてその驚くべき奇跡に続けて説教に立った使徒ペトロの言葉を聞いて多くの人々がバプテスマを受けました。ペトロはこう言いました。「悔い改めなさい。めいめい、イエス・キリストの名によってバプテスマを受け、罪を赦していただきなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けます」(使徒 2:38) と。

このペンテコステの良き日、祈りをもって聖霊による力を頂き、信仰の火を燃やされ心熱くしたいと願います。教会の祈りはすべての人々に福音が「分かる（届く）」ことです。今日礼拝にお集まりのすべての人が、イエス・キリストへの信仰、その名によるバプテスマへと導かれますように。

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00～10:00 (相模原礼拝)
		午前 10:40～12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30～10:20
(嬰兒、幼児、小学生、中高生、青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)		
祈り会	水曜日	午後 7:30～9:00
金曜集会	金曜日	午前 10:30～12:00
家庭集会 (相模原)	第二火曜日	午前 10:00～12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30～3:00 (長谷川家)

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間 4-2 4-6 TEL&FAX 046 (274) 3708
牧師：吉田真司 音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子 協力牧師：斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>